いわき民報
発行所　いわき民報社
（電一八三番）福島縣平町一番地
人行政兼編輯　千葉克己
人事印刷兼
毎日曜日を除く日刊
定價一ケ月五円　一部十錢

内科、小兒科、眼科、外科
産科、婦人科、耳鼻咽喉科
皮膚泌尿器科
富ケ浦病院
院長　安田善一
電話　三十三番

麥、イモの供出頗る順調

大野村では逸早くも完遂

十四日現在で三九、三パーセント

端境期を前に國民總飢餓の運命をかけて今大麥、小麥、馬鈴薯の收荷供出に懸命となつてゐるが植付完了と共に天候の恢復は田薯の供出意欲の促進に拍車をかけ一昨十四日現在の平食糧檢査所の成績を見ると既に早くも大野村では完遂を見て居り、上下小川、川部、草野、夏井の各村も七割臺を突破してゐるが畑作の川前、澤渡三阪、箕輪、永戸、神谷方部は未だ全然なく八月中旬と見られてゐる、十四日現在の供出量は左の如くで割當の三九、三%であるが天候の恢復は漸次出荷の増加を見、畑作部を除いては二十日過ぎには完遂できるのではないかと見られてゐる、尚大、小麥類は梅雨的氣候に災ひされて麥打ちが出來ず停屯狀態にあつたが之も軌道にのり始めた（單位俵）

▼馬鈴薯　平一一七六、飯野五〇九、鹿島二三〇、好間三一一、植田五六、錦二八七、勿來九三二、川部三六二、田人三、上遠野一七九、入遠野一六〇、小名濱一三二、泉一九八、豊間一三六、江名二、湯本二八六、渡邊五四〇、磐崎五一八、内郷二五五、赤井五〇五、上下小川四一四、川前、澤渡三阪、箕輪永戸、神谷は零、草野一〇一一、夏井一〇三二、高久四五三、四倉九一、大浦八九七、大野七六七、合計一二、一七一俵（三九、三%）

▼大麥　勿來三八、川部一三、上遠野一三、草野六、合計七〇俵

▼小麥　勿來一、川部三、上遠野二、合計六俵

小名濱に港務所設置

近く縣港灣使用條例も設定

小名濱港の岸壁利用問題について町自体からも去月來埠頭便用認可申請の提出をみる始末に縣も愛慮、志賀町長、日製小名濱工場及び小名濱港灣運送の三者を縣に招致、懇談の結果遂に小名濱港灣運送の既設物件はこれを認めると共に町自体の出願に對しては他府縣の港灣管理狀況を勘考の上決定する外これを機に縣港務所を新設し、縣直接港務を執行することに内定をみた

平市の公葬

十九日公會堂で

平市では十九日午后一時から公會堂日本間で左記十六柱の公葬を執行する

故軍曹小松公平（南町）仝脊木敏（鎌田町）故海軍一等飛行兵鈴木隆正（下川前）故伍長石川博（五丁目）仝柳下松男（紺屋町）故兵長牧野克夫（胡摩澤）仝佐藤子（八幡小路）仝高野榮（彌宣町）仝鈴木武夫（南町）故海軍工作兵長佐々木德（鎌田町）故上等兵吉田照知（才槌小路）仝志賀清（古銀冶）仝渡邊三男（大町）仝佐藤義秋（仲間町）故陸軍軍曹小田恒也（八幡小路）仝藤祉美義（四軒町）

急遽二代表が上京

濱通りは全遞闘爭解決案に反對

全遞の要求七月案は大体に於いて承認されたが右によると六大都市では實際要求より上廻りを示すが、地方では下廻り、平均九一、大浦八九七、大野七六七、合計一二、一七一俵（三九、三%）

▼大麥　勿來三八、川部一三、上遠野一三、草野六、合計七〇俵

▼小麥　勿來一、川部三、上遠野二、合計六俵

部を設置し濱通り闘爭本部では三浦委員長等の歸來を待つて十四日對策協議濱通り臨時大會を開いた結果、濱通り全局は斷爭右解決案に反對の決議を行ひ、政府當局に實情を訴へてその反省を求めることに決定、十五日市川（平局）中山（好間局）の兩氏を代表として上京せしめた、この兩代表の歸來を待ち改めて大會を開いて態度を定めることゝし一先づ闘爭を中止の狀態に置く

びし須賀川局では今回の解決案に對して滿足の意を表し、萬歳を叫べて闘爭を打切つたゝめ、縣下各局の結束もこゝに亂れてしまつてゐる始末なので、不滿足ながらも今回は一應闘爭を打切決定發表した

▼笑顔で出迎へよ手をひいて（高一ノ一　拂本忠夫）

▼明るい心で引揚援護（同須藤喜六）

▼其の身になつていたはれ引揚者（同舟生芳弘）

草野村は存置に決定

國民健保組合問題に一示唆

國民健康保險組合問題は終戰後俄然反對論が各地に殆頭殊に新圓生活の窮窟さから、醫師側も城地方事務所でも仝村の態度こそ他の範とするに足ると極力推この新圓獲得を目指すためか、いよ〳〵両白からぬ空氣が濃くなり遂に小名濱町を始め各地に組合事業停止といつた事實上の解散が續出、健保は何處へゆく？を興味もつてみられ始めた折柄、石城郡草野村でもこれが問題となり、村民の大部分は廢止解散論に傾いた、從つて組合議員中にも解散論が漸次濃厚となつたので組合でも捨て置けず去月來前後七回に亘り顧問會、役員會、議員總會等を開催論議し

清野氏愛娘

農業會石城支部職員

元磐城新聞平支局長清野庄十郎氏二女しげ子さん（五ツ）は疫痢で十五日朝五時急逝した葬儀は十六日午後二時から自宅で佛式に依り執行される

木材運搬打合せ

平署では十五日午後二時から進駐軍の宿舎用木材緊急運搬打合會を開いた

大道異變

平中　青二

▼私は嘗て或る婦人會の席で『日本の婦人は、子供を産むこと鼠の如く、多量生産はするが育てることを知らぬ』と講演したことがある

▼『三つ子の魂百まで』と云はれてゐる通り、學校に入つてから先生に教育して貰ふんだ等と聲のんきなことを考へてゐては困る。三才位までの間に養はれた精神が一生を支配する、が教育は生れぬ前から始めねばウソだ

▼胎教だ。子供がお腹の中に居る時から始めるのだ。十數年前に某女學校の生徒が、人の物を盗んだ。保護者を呼び出したらお母さんが來た。お母さんは大の社とし教會として、新聞の三面記事は讀むな、小說も讀むな人の惡口は叩くな。そして靜かに聖賢の崇高なる精神を糧にするやうに、日夜精進せよ等々を話して行つた

▼數日たつて、風の便りに曰く『今度の校長は日本婦人を鼠と考へてゐるけしからん。』

▼子供が腹に宿つたら、体を神

イモの配給基準決定

米配給量の四割差引も四回分割＝米換算率は？

早掘の田薯は既に各區内で一部配給が行はれて居るが、供出割當決定に依る入荷も遂次増加して來たので縣の指令に依り配給課では配給基準を左の樣に決定した

一、家族一人當り何貫匁ときめず各家庭一ケ月飯米配給量の四割分を一時に配給する

二、飯米通帳の差引に就いては四割分を一時に差引かず十日目毎の配給日に一割づつ差引き四回目の配給日に就て差引を完了する

三、米との換算率は米一升當り一貫六〇〇匁　四、價格は合格品一貫匁當り四圓八十錢

つて、改めて機會を見て再要求闘爭に出ることに結局落付くのではないかとみられてゐる

四倉兒童入選標語

海外同胞引揚者援護週に當り四倉國民學校では"兒童を通じ一般に援護思想の徹底を期するため、先般兒童から標語の募集中だつたが、十三日佐藤晋一教頭の審査で左の如く優秀入選作を

たが、再建日本の國民の健康增進こそ刻下の急務である今日解散するが如きは予盾も甚しい坂本惣次郎氏の熱意範つた說得に議員連及び村民も諒として、一応醫療は絶對に受けぬこと、組合では毎月平市から各科專門醫を聘して村民の健康診療奉仕を實行すること等を申合せた、石

入荷御案内

浮袋	150.00
ゴム前掛	60.00
手袋	60.00
ボール	60.00
替ゴム	5.00
脂綿	4.80
パン器	60.00

用浴用ゴム帶脱製
水業秀ジ經用易
海漁優フ月代簡

【卸賣は特に御相談願ひます】

磐城物産株式會社
平市田町中央通り電三八一

小名濱海岸へ女死体漂着

姙娠五六ケ月位

小名濱海岸へ死後五時間位しか經過せぬ女の死体が十五日午前三時半頃漂着した、黒の簡單服に黒のスカートをはき電髮で赤色の前掛けと五圓五十錢入りの赤線入りバンドバックを所持、姙娠五、六ケ月一見商賣人とも見られるが身許不明、尚殆んど水をのんでゐないのと男の浴衣が一枚漂着してゐる点にいさゝか疑問があるとみられてゐる

いわき寸言

▼麥類の供出、意外に良好で大野村は逸早く完遂し十四日現在で三九、三%を示す、農家の同胞愛に感謝を捧げると共に今后一層の供出に協力を切に希ふ

▼草野村で健保組合は採んではみたが大乘的見地から存續せしめることに決定した、解散論の大い今日、一示唆を與へるものであり、坂本惣次郎氏熱意の賜といへやう

▼全遞の闘爭、濱通りは解決案に反對ながら縣内局の結束の亂れた今日最早打つ手もあるまいとみられる、結局田舍は損をみるものとのよき手本を示す？それにしても結束を缺くことは大きな全遞の弱味ではあつた、

商事部創設
建築資材、建築金物
復興資材、生必物資
食糧品類等其他
格安斡旋提供
◇地方代理店特約店急募（御報呈規約）
平市田町五
平土地住宅有限會社
商事部
電話二〇二番

米價が六百圓と出たら

各方面の忌憚ない意見を叩く

本年産業の賣上げ値段は四月に決定の豫定だつたが、政局不安定のため未決定のまゝ今日に至つてゐる、然し價格決定の遲延は供米成績にも重大關係があるので、政府では近く決定する模樣であるが、米價は諸般の情勢に鑑み大幅値上げとなることは爭ふ余地はなく、政府の肚は石當り現行價格三百圓の一躍倍の六百圓に引上げを目標としてゐる模樣である、而してこの値上げ價格を直接そのまゝ販賣價格とするか、或は値上げ分を國庫から補給するかに關しては國民生活と國家財政とを睨み合せて檢討してゐるが、財政的な見地からみるときは補給金到度の實現はなか〳〵に困難とみられてゐるので、そのまゝ消費者價格への引上げになるのはないかと見られてゐる、果して六百圓と引上げをみた場合はどうか各方面の意見を聽いてみる

線香花火的効果のみ

他の物價が騰貴したら無駄

値上げより信頼感を深めよ

信頼感を強く感ぜしめて呉れた方が遙かに有効である、折角値上げされてもこれに伴つて他の物價が引上げられたら元の木阿彌に終るであらうことは明かと思ふ

無謀といふ外なし

一般生活の破綻招來は必定

生産側の言分

農業會並に農家側の意見は政府は虚言をはかぬものとのをきくと、現在の一躍倍の六百圓となるとすると農村側は喜ぶことは滿合從つて一時的には供米にも好果を齎らすかも知れないが、たゞ無條件には考へた場合は喜べないし又その好果が永續し得らるゝかどうかはその后の政府の施策如何にかゝる問題である、然し現在の狀態から眺めた場合はどうしても線香花火的に終るのではないかと思ふ現在の農村これは必ずしも農村に限らず都會地でも同樣である、折角の國の切換へも生産面りに高騰してゐる現在又米價がこれに伴はぬために物不足でそんなにも騰つたら、直接高物金よりも物を望んでゐる有樣である、從つて賣上げ價格の値上げも何もなく、完全に個人生活は破滅のどん底に突き落されることは極めて明かなことではあるまいか、我國の物の建値は米價が基準をなしてゐるのであるから、政府が例へ諸物價を押へんとしても米價を引上げる以上、押へても押へ切れるものではない、現在ですら物は闇でなければ手に入らず、配給の滿足でない今日、配給のみで生活が出來ぬ現狀をみれば、こんなことは一目して判る問題である、農家側も決して米價の上ることは嬉くない、むしろ諸物價を完全に押へ物の出廻りを圓滑にして、肥料なり農具なり農家の要求するものを安く支給してやつた方が喜ぶであらう、たゞ米價のみを、それも消費者價格迄引上げるなどゝいふことは無謀といへやう

消費者側の言分

食糧營團側及び消費者側の意見を綜合すると、一躍の倍に引上げ、それを直接消費者價格とするが如きことは無謀ではあるまいか、五百圓生活もいよ〳〵窮屈となり、新聞は嬉くない、むしろ諸物價を完全に押へ物の出廻りを圓滑にして、肥料なり農具なり農家の要求するものを安く支給してやつた方が喜ぶであらう、たゞ米價のみを、それも消費者價格迄引上げるなどゝいふことは無謀といへやう

中小産業は

自滅のみ

當然起つて來る勞金の値上要求

事業所側の言分

事業所や工場側の意向は食糧問題で苦しんでゐるのであるから賣上價格の値上げにより供出が完全に行はれ、勞働者が賣出

開放

投書を歓迎す
要望批判結構
紙上匿名可

平驛前の雑踏

▼…時局の然らしむるところとして交通機關利用の困難は日を追ふてひどくなつてゐる、これにともなつて驛のこん亂と雜沓は公德心も道義心もなんのそのかゝるところに犯罪と事故の原因が發生する

▼…そこで驛では自發的に勞組が中心となり警備隊を編成乘客の整理をなすとともに事故の發生と犯罪の防止に日夜大童の活動を續けてゐるが、お陰で近頃驛の明朗さが際だつて旅行者をして流石はと賞嘆せしめてゐる

▼…然るにどうか？これと對蹠的に官營と民營との違ひはあれ同じ交通事業である、常磐交通自動車株式會社前の喧嘩と怒號に滿ちたあの雜沓振りは、洵に驛の心ある人をしてヒンシクせしむるものがある

▼…天下の公道も何もあつたものではない、湯本行、好間行、赤井行どこ〳〵行きと何列にも折重なつて道路を縱横に蜿蜒長蛇の列を作り頭の上には赤白青色とりどりのハンカチや手拭等で僅かに炎暑をさけ自動車を待つてゐる群がる乘客の壯カン？さは正に平の名物の一つでもある

▼…暑かろうと寒かろうと乘ろうと乘るまいとお客の勝手だ、道路の防禦は會社の知つた事ではない、道路が通れないなら驛の廣場が開いてゐるではないかと云つた樣に道路が唯のものか判らない、この投やりな會社側の態度には全く常識外なものとしてあきれざるを得ない

▼…一体あの會社の首腦部連中には良心と云ふものがないのだろうか？又交通取締と營業監督の任にある警察署は全体何をしてゐるのか？目は節穴ではないの知らんでは濟ませられないだ

▼云ふ可き事を云わず、取締る可きを取締らずにしまふことが民主的警察官だと思つてゐたら大笑ものだが、笑つて居られない圭子の美しい横顔を、ぬすんで『アー本當だ』とふりむいた一はいくらかテレた樣に。『舍道はいゝなあ』と、チラリ、ハツキリした朗らかさを含んだ初の冒險であつた

▼…然しこの問題は今迄にも何回となく繰返され警告されてゐたことなのだが、頑冥な會社は更らに反省しようとしない、この際取締當局の斷乎たる決意を要求すると共に深く市民の輿論を喚起して已まない（神經生）

生活文化

生きてゐる繪

水上　冷

彼は繪を描く事に生きる道を見を想ふと、彼の繪はぐいぐいと強いタッチの線を畫き彼の眼はてゐる限り彼女と會ふ機會は失はれなかつたからです。彼は極る色彩的判斷と創造に異樣に輝く味として始めたこの勉强がやがて生計を樹てるにまで進展するとは夢にも考へて居りませんでした。身体のあまり丈夫でない彼は眞夏の强い直射光線の下に三時間も四時間も全身をさらけ出してカンバスに美しい山を繰なつた。彼は繪を通じて快樂を再現しようとする努力は一段と忍耐と苦痛を伴ひました。然し完成したその繪を前にして彼女と二人で批評し合ふ一とときをを想ふと、彼の繪はぐいぐいと強いタッチの線を畫き彼の眼はてゐる限り彼女と會ふ機會は失はれなかつたからです。彼は極る色彩的判斷と創造に異樣に輝く味として始めたこの勉强がやがて生計を樹てるにまで進展するとは夢にも考へて居りませんでした。身体のあまり丈夫でないをさけて神社の拜殿の蔭とか山彼は眞夏の强い直射光線の下に狹の古木の下にスケッチをしてある彼の姿が見受けられる樣に三時間も四時間も全身をさらけ出してカンバスに美しい山を繰なつた。彼は繪を通じて快樂を再現しようとする努力は一段と忍耐と苦痛を伴ひました。然し完成したその繪を前にして彼色彩に見る爲に色眼鏡をかけてゐたのを捨てました。際に苦勞してゐる水車のくすんだ色を又雨上りの若々しい綠の色をカンバスに移す事に何よりも生甲斐を感じる樣になりました。彼の繪は彼女の部屋にも揚げられてありましたが彼が繪を通じて彼女に接近する事を斷念した頃よりはずされてありました。彼女は彼が立派な繪を完成する事に協力しようと思ひ彼より離れようと心掛け心にもない言動をする樣になりました。彼はそれを聞いて彼女の心を知つてゐるだけに一層の自省と自責の念にかられました。彼は一夏をある鑛泉宿に過す事に決心して一揃の道具を持つて彼女の前から姿を消しました。彼が自ら鞭打つてきつと美しい作品を畫らしてくれるであらう事を祈つてゐる彼女は繪を捨てゐる事に苦勞してゐる水車のくすんだ色を又雨上りの若々しい綠の色をカンバスに移す事に何よりも生甲斐を感じる樣になりました。彼の繪は彼女の部屋にも揚げられてありましたが彼が繪を通じて彼女に接近する事を斷念した頃よりはずされてありました。彼女は彼が立派な繪を完成する事に協力しようと思ひ彼より離れようと心掛け心にもない言動をする樣になりました。彼はそれを聞いて彼女の心を知つてゐるだけに一層の自省と自責の念にかられました。彼は一夏をある鑛泉宿に過す事に決心して一揃の道具を持つて彼女の前から姿を消しました。彼が自ら鞭打つてきつと美しい作品を畫らしてくれるであらう事を祈つてゐる

鈴木けんじ

白いちぎれ雲……
心をふつくらそつゝんでくれる樣な、あたゝかい白い雲が、夕陽のアカネをうつして居る。五月の或たそがれであつた。綠ケ岡から自由ヶ丘へつゞく櫻の細道の、そのなよらかな若草を分けて、らあてもなく歩いて居た。夕もやが、紫のブールが、しのびやかに來つゝあつた『もう蛙がないてるわ』圭子の聲である

農家側でも喜びはせぬ

農村青年の言分

丸農の多い今日だ農村の青年達はどうみる引上げは確かに現在の諸物價からみて不當のものではない、農民として當然と思ふ、だがこの値上げにより農家の生計が楽になるかと思ふのは早計だ、米の引上げは即物價の奔騰となり、一時はよくとも直ぐ苦しくなる、われ〳〵は諸物價に比して米價が均衡とれゝばよいのである、こゝを考へて諸物價をグッと押へ米價の引上げを小幅にした方がよい、農家といへ最近は供出の强化で手持米なく還元配給で食ふ丸農がめつきり增加してゐるから、うつかりすると米價の引上げは小農をも苦しめることになる、こゝらの点を十分に研究して貰はぬと意外の結果を生むかも知れぬことを覺悟すべきである

設計作製修理

▽…礦山機械
▽…製鹽釜
▽…電氣酸素溶接
▽…自動車三輪車發生爐
▽…船舶機器
△…自動車
湯本町驛前通
タモツ鐵工所
電一二六番

▲營業種目▲

タモツ自轉車部
毎度有難うございます
尚二原御引立願ひ上げます

病（やまひ）

病氣種別は
一、原因　醫師診斷
一、くすり　醫師處方藥、家庭
一、手當法　本人家人看護熱冷
（營養）
右家庭衛生資材並に其の他相談に應じます
日本健民原生協會指定
生盛藥劑株式會社指定
平市平田町（銀座街）
あこう藥局
藥劑士　阿部康
電話四十四番

カメラ

高價買入マス
◇現　像◇
◇焼　付◇
◇引　伸◇
平市三丁目
茂木カメラ店

書籍　高價に買きます
平市五丁目　片寄書店